

Meiji Seika ファルマ株式会社

報道関係各位

2026 年 10 月 28 日

エムボックスの流行に備えた 世界的なワクチン備蓄体制プログラムへの参画のお知らせ

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：永里敏秋）は、このたび、Meiji Seika ファルマ傘下のKMバイオロジクス株式会社（本社：熊本市北区、代表取締役社長：高橋洋匡）が、WHO の ICG (International Coordinating Group on Vaccine Provision)*によるエムボックスの流行に備えた世界的なワクチン備蓄体制プログラムに、エムボックスワクチン『乾燥細胞培養痘そうワクチン LC16「KMB」』を以って参画することをお知らせいたします。

本参画に基づき、KMバイオロジクスはエムボックスワクチン 19.25 万回分を供給します。また、5.75 万回分の寄付を行います。

当社の代表取締役社長 永里敏秋は、次のように述べています。「ICG と連携し、平時からエムボックスの感染流行に備え、LC16「KMB」の即応的な供給体制を構築できることを大変意義深く感じています。当社は、ICG が推進するワクチン・セキュリティの強化、すなわち高品質なワクチンへの安定的かつ持続的なアクセス確保の考え方に深く賛同しており、その取り組みを支援します。今後も、Meiji Seika ファルマおよびKMバイオロジクスは、感染症レジリエンスを支える企業として、国際機関をはじめとする様々なパートナーと協働し、予防から治療まで一貫したソリューションの提供を通じて、世界の感染症課題の解決に貢献してまいります。」

『乾燥細胞培養痘そうワクチン LC16「KMB」』は、1 回接種で予防効果を発揮でき、乳幼児を含むすべての年齢層に使用可能な弱毒生ワクチンです。本ワクチンは、日本において 1975 年に「痘そうの予防」を効能・効果とする医薬品製造販売承認を取得し、2022 年 8 月には「エムボックスの予防」に関する効能・効果の追加承認を取得しています。また、2024 年 11 月には、WHO のエムボックスワクチン緊急使用リスト（EUL：Emergency Use Listing）に登録されています。

Meiji Seika ファルマとKMバイオロジクスは、本ワクチンについて、今後 WHO 事前認証（PQ：Prequalification）の取得を目指してまいります。また、引き続き ICG や厚生労働省、外務省などの関係機関との連携・協働により、国際的な公衆衛生上の課題への対応に貢献してまいります。

※ICG (International Coordinating Group on Vaccine Provision)について：

<https://www.who.int/groups/icg/about>

以上